

※水色と黄色のセルは回答必須(回答すると色が消失)。				送付先:report@r-ict-advisor.jp (一財)全国地域情報化推進協会	
派遣決定番号 O24K					
報告日 令和7年7月16日					
報告回次 2日目					
令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書					
地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。					
記					
1. 申請団体情報					
1-1. 申請団体					
団体名	久米島町			代表者名	桃原秀雄
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画財政課	連絡先電話番号	098-985-7122
担当者役職	主事	担当者氏名	村吉奈緒美	連絡先E-mail	
住所	901-3193 沖縄県久米島町2870				
1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)					
団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	
1-3. 支援を求める内容					
支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	自治体DX推進事業		
概要	久米島町DX推進計画に位置付けられた「町民サービスの改革」「職員の働き方・風土改革」を推進するため、R7年度お客様視点の窓口改革、業務改善といった変革に対応できる職員の育成を図ります。				
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成)				
2. 地域情報化アドバイザー派遣実績					
2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年7月10日	支援・助言&講演(実地)	9時00分	17時30分	60
				活動時間(分)	450
2-2. 派遣場所	会場名	久米島町役場仲里庁舎 第3, 4会議室		最寄駅	仲里庁舎前
	所在地	沖縄県島尻郡久米島町字比嘉2870番地		最寄駅からの交通手段	徒歩
3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望					
支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。					
アドバイザー	長尾 飛鳥				
評価	大変良い				
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	DXの必要性を伝えることができ、デジタルではなくトランスフォーメーション(変革)が大切であることを分かりやすく伝えていただいた。いま行っている業務が本当に必要なのか、もっと効率にできる方法があるのではないか、と見直すことを考えるきっかけとなった。参加した職員の中には、同じ公務員がアドバイザーということで、事例等の紹介や例え話が身近で納得することが多かったという意見もあった。また、これまでのDX研修とは違った方向性で良い印象を受けたと意見もあった。講義のほかに、個別相談をしていただき、リラックスした状況で簡単な質問にも答えていただけたため、今日から使えるデジタル技術を学ぶこともできたため。				
アドバイザーへの要望事項	特にありません。				
4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果					
4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数		13人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	13			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	令和5年度に久米島町DX推進計画を策定をし、令和7年度にDX推進本部やワーキンググループ(有志メンバー)の立ち上げを行い、着実に進めてきている状況ではあるものの、ジブンゴトとして捉えている職員が少ない。				
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	スモールスタートをして、成功体験を積み重ねていくことで、巻き込む職員を増やしていく。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)		・「DXとは」必要性の目線合わせ・下呂市の事例紹介 ・望まれる職員像・3年後の未来に対してどうなっていたいか 2時間半の講義を行っていただきました。 講演後、本町職員の個別相談ではデジタルツールの活用方法や事例の紹介をいただき、業務効率化への近道をご教示いただいた。また、庁舎内を視察いただき、見直すべきポイントを教えていただきました。 ”試験的にやってみる”というキーワードでまずやってみて、だめならまた考える方法を学べた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)		業務の見直しや無駄なものをなくすことを学び、庁舎内の無駄を整理しました。一部ではあるものの、職員間の中で、もやっとしていたことを実はみんな思っていたことだったという認識で、前に進めることができた。	
具体的な成果物		最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
		－	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)		－	
アンケートの内容と分析結果		講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果について記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由を記入下さい。 参加した職員7割以上が前向きにDXを進めたいと回答しており(3割は進めたいと感じている)、スモールスタートのグループをいくつか作りながら、体制を構築し、最終的な全庁的に推進する流れを取れるといい。また「DX＝デジタル化」の意識から「変革が重要で、無駄をなくす」という職員の意識への変化も見受けられた。	
4－3. 今後の計画		最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
		現在行っている電子申請に加え、更なる拡充を行いたいと考えている。また、令和5年度に策定された本町のDX推進計画の今後の取り組みについては、DX推進ワーキングメンバーも踏まえて再検討をする必要がある。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿		原課の枠にとらわれない横展開で推進することができるDX推進リーダーの発掘、育成(5人程度)を行う。全庁での推進、共通理解を深めることで、行政サービスの維持・強化を行うことができ、さらなる住民満足度を上げ、業務改善へと繋げていく。	
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可			
掲載許可		☐ 掲載可	
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください			
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子			
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。			
  			